

令和6年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	胃がんリスク検査			事業番号	011-189
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現	
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 28 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市がん対策推進条例、堺市胃がんリスク検査の実施に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	35歳～49歳の市民（1回限り）			対象数	単位	
					48,000	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんによる死亡者の減少を実現するため。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・ペプシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ抗体検査により、胃がん発生のリスクを調べる検査を実施。 ・受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。 ・検査内容 問診 血液検査 (ピロリ菌の有無、胃の萎縮度の判定) ・検査の結果により、要精密検査となった方には精密検査を案内している。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人堺市医師会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11 受診者数	人	目標値	3,197	3,197	3,197	3,197
		実績値	2,152	1,776		
		達成率	67%	56%		
当該指標を選定した理由		胃がん発生のリスクを把握し、市民の健康の保持増進を図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年の実績値を上回る目標値とする。				
12 実施医療機関数	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	カ所	目標値	198	198	198	
		実績値	198	198		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		検診受診の機会を適切に確保するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		市内検診実施協力医療機関数				

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	胃がんリスク検査	事業番号	011-189
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費（a）	15,055	11,520	23,722	9,492	10,236
13	財源					
	国支出金			0		0
	府支出金			0		0
	市債			0		0
	その他（ ）			0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	15,055	11,520	23,722	9,492	10,236
14	人件費（b）	820	820	810	810	810
15	年間経費（c）=（a）+（b）	15,875	12,340	24,532	10,302	11,046

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	胃がんリスク検査	決算		9,265	9,265		決算			
		予算		9,906	9,906		予算			
	印刷製本費	決算		203	203		決算			
		予算		254	254		予算			
	通信運搬費	決算		0	0		決算			
		予算		26	26		予算			
	手数料	決算		24	24		決算			
		予算		50	50		予算			
		決算					決算			
		予算					予算			
		決算					決算			
		予算					予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 受診者数	人	2,152	1,776
	② 上記①にかかる年間経費	千円	12,340	10,302
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	5,734	5,801

備考（算出についての説明等）

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度より、40歳～49歳の間に1回から、35歳～49歳の間に1回と対象年齢を拡充、自己負担金を無償化した。令和3年度までは受診者が増加したが、対象となる年齢の間に1回限りということもあり、令和4年度、令和5年度は受診者数が減少した。受診者数が減少したにも関わらず、単位当たりの経費が増額したのは、受診票の印刷製本費など固定費がかかるためであり、コスト削減には、受診者数を増やす取組が必要である。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	身近な医療機関での検査を可能にすることで、検査を希望する市民の受診環境を整えることができる。 また、全国的に部位別のがん死亡数（2020年）では胃がんが男性で第2位、女性で第5位となっていることから、対象市民の胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんの早期発見・早期治療につなげることで、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」に寄与すると考えられる。 今後も、ICT（SNS等）や企業連携等を活用した多種多様な手法で、啓発や受診勧奨を実施し、胃がんリスク検査の周知や正しい知識の普及を行うなど、受診者数のさらなる増加に向けて取り組む。
----	--